

◆ニックネーム・グループ名（人数）

翅（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 美味しく無駄なく

活動の動機

新聞やテレビで食品ロスが問題になっていると聞いて、食べることは自分達の生活とも深く関わっているのに、なにか取り組めることはないかと思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年8月12日

ゴール

12 2 3

解決したい地域の課題

豊橋市の表浜海岸は希少なアカウミガメの産卵場所となっているが、海岸にゴミが捨てられていたり車の轍で子ガメが海にたどり着けないことがある。

目指す将来の姿

限りある資源を上手く活用してもっと先の未来でも暮らして行けるような持続可能で動物などとも共存できるような社会

活動の内容

普段捨ててしまうような部分を使って料理を作る。ピーマンのわたや種ごと使ったナポリタンと、ブロッコリーの茎と大根の皮を使ったきんぴらを実際につくってみる。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

いーはる（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

夏を涼しく過ごそう！

活動の動機

最近異常気象がよくあり、夏は暑く、エアコンが無くては過ごせない。しかし、エアコンばかり使っているのは温暖化に繋がりさらに悪化してしまふと思ったから。



取組・活動 実施日

令和3年8月2日から令和3年8月15日

ゴール

3

解決したい地域の課題

地球温暖化を少しでも抑えられる対策を見つけて実践すること。

目指す将来の姿

エアコンをあまり使わないで夏を快適に、そして異常気象による災害もないような未来。

活動の内容

夏を涼しく過ごすための工夫はどんな事があるのかを調べて自分のできる範囲で実際にやってみる。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

かばおライス （ 1 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 生ゴミを減らすためにできること**活動の動機**

家庭ゴミから出る可燃ゴミの約3割が生ゴミだと知り、その中にまだ食べられるのに捨ててしまうゴミも含まれているのでは、と思いました。そんな食品ロスをなくすにはどうしたらいいか気になりこの活動を始めました。

**取組・活動 実施日**

令和3年8月11日から8月14日

ゴール

2 1 3

解決したい地域の課題

家庭から出る生ゴミをなるべく減らし食品ロスを少なくする。飢餓で苦しんでいる人たちに少しでも力になれるように努力する。

目指す将来の姿

家庭から出る生ゴミの量を少なくし、食品ロスを減らすため一人一人が食べ残しをしないようにしたり、調理法を変えるなどする。食品ロスが減ると、燃やすゴミが減り地球温暖化を予防できる。飢餓で苦しんでいる人たちが毎日お腹いっぱい食べれる。

活動の内容

生ゴミを減らすために今、私たちが出来ることは何か調べて実行する。そのため、朝、昼、夜ご飯を3日間つくり、合計で何グラムの生ゴミが出たか計り、家庭から出る一人が1日に出す生ゴミの量を調べ、比較する。生ゴミを減らすために野菜を切るときに、いらぬ所はなるべく小さく切ったり、野菜くずを使ってだし汁をとるなどする。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

家庭菜園

活動の動機

コロナ禍でさまざまなことが変化の中で、収入が不安定なため買い物もよく考えてするようになりました。お金に限りがあるので、買うものにも制限がかかりそれによって食物のありがたさに気づいたからです。



取組・活動 実施日

令和3年5月5日から令和3年8月14日

ゴール

12 3 13

解決したい地域の課題

地産地消です。豊橋市の特産物は、ヤマサのちくわ、うずらの卵、次郎柿、しそなどたくさんものがあります。せつかく自分の住んでいる地域にすてきな食物がたくさんあるなら自分たちで消費したいなと思います！

目指す将来の姿

全国の人たちが、全員自給自足をしてほしいわけではないけれど、家庭菜園やさまざまなことを通して心が豊かになったらいいなと思います。家庭菜園の他にも、家庭それぞれでいいと思うので、自分たちのできることから始めてほしいなと思います。

活動の内容

育てる上で、気をつけたことがいくつかあります。
 その1:土づくり
 作物の多くは通気性の良い土を好み、通気性の悪いと腐ってしまう可能性があるため、水を上げすぎないようにした。
 その2:植え方
 たくさん植え付けてしまうと生育が悪くなり、収穫量が減ってしまうため間隔をとりながら植えた。それ以外には、植物によっていろいろ工夫しながら育てました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

a (1 人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

SDGs片付けプロジェクト

活動の動機

着ることが出来なくなった洋服やおもちゃがあり、それらを必要ないからといって捨てるのではなく、何かSDGsに貢献できるかたちで利用できないかと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月3日

ゴール

1 3 4

解決したい地域の課題

誰かに譲ったり寄付することでまだ使い道がたくさんある商品がたくさんあると思います。でも、それらは自分には必要ないと思っただけで捨てられてしまうことがかなりあると思います。

目指す将来の姿

自分には必要ないからといって捨てるのではなく、誰かこれを必要としている人はいないかと、一つのものでも、使える限り、何人にも使われる。

活動の内容

散らかっていたおもちゃ置き場を片付けた。ごみは、燃やすゴミとプラスチックごみ、壊すごみの3つに分別し、必要ないと思ったものの中でも、きれいなものはさらにティッシュなどでふき、残しておいた。また、ごみ袋の数をなるべく減らすために、ごみはなるべく小さくして捨てた。洋服は、もう一度洗濯をして、袋へ入れた。そして、寄付する。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食品添加物が及ぼす影響

活動の動機

私はニュースで食品添加物が体に及ぼす悪影響を見て、実際にどんなものが含まれているのか、何が危険なのか気になり、この活動を選びました。



取組・活動実施日

令和3年7月31日から令和3年8月22日

ゴール

3

解決したい地域の課題

多くの人が食品添加物がたくさん含まれた食品を摂取している現状を解決し、地域の人が健康に暮らせるようにしたいです。食品添加物が人間の体に及ぼす影響を調べ、どのような食事を取るべきか考えます。

目指す将来の姿

食品に含まれている食品添加物や食品添加物の役割、危険性を調べてそれをふまえ、どのような食事を取るべきなのかを考えることで一人一人の健康が保たれます。地域の人に広めて多くの人が実践していくことで、3番の「すべての人に健康と福祉を」を達成することができます。

活動の内容

多くの食品には油脂の酸化を防ぐ酸化防止剤、食品を鮮やかな色調に整える亜硫酸ナトリウム、品質の安定を保つ乳化安定剤などそれぞれ適した役割の添加物が使われていることを調べました。そんな食品添加物は発がん物質に変化したり、アレルギー症状の原因になるなどの悪影響があるとわかりました。実際に食品添加物の入っていないものと市販の2種類のクッキーを食べ比べてみると味、食感、香り大きく違うと感じました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

とまと（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

栄養バランスを考えた朝食

活動の動機

私は休みになると偏った食事になってしまいます。偏った食事を続けてしまうと生活習慣病につながってしまうと思い、この活動を選びました。



取組・活動 実施日

8月17日から8月24日

ゴール

3

解決したい地域の課題

食に関する生活習慣病の原因を調べ、生活習慣病の予防のために栄養バランスを考えて、偏った食事を解決したいと思いました。

目指す将来の姿

いろいろな飲食店が増えていますが、それに頼ってしまうと食事に偏りができてしまうので、栄養バランスを考えた食事をとるべきだと思いました。栄養バランスを考えた食事に変えていくことで3番の「すべての人に健康と福祉を」を達成することができると思いました。

活動の内容

生活習慣病の原因には朝食欠食、脂質・食塩・糖分の過剰、食物繊維・カリウム・マグネシウムの不足などがありました。「時間がない」という理由で朝食を取らない人が多かったので時短食材を調べました。そして原因となっている栄養素をもつ食材を調べました。朝食に必要な栄養素は炭水化物、たんぱく質、ビタミン・ミネラル類なので、3つの栄養素に当てはまる食材を調べたものからいくつか選び朝食のメニューを考えました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

愛知県立豊丘高等学校（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

食物アレルギーとは無縁に

活動の動機

私にとっては何気ない普段の日常生活の一部である食事の時に気をつけながら食事をしないといけない方がいることを知り、そんな方達にも安心して食事をし、「食べる喜び」を知って欲しいと思ったから。



取組・活動実施日

令和3年8月11日から令和3年8月19日

ゴール

3

解決したい地域の課題

食物アレルギーがある方もない方も安心して食事ができるようになり、「食べる喜び」を知ってもらい食事を楽しめるようになる。

目指す将来の姿

食物アレルギーへの理解を深めると共に食物アレルギーがある方もない方も安心して食事をする事ができるような食事のレシピが増え、みんなが食事を楽しむことができるようになる。それし美味しい楽しい食事の時間を過ごし笑顔になれる。

活動の内容

まずは、食物アレルギーとは何かを知るために「食物アレルギーの症状・食物アレルギーを引き起こす可能性のある食べ物・食事の時気をつけなければならないこと」についての調べ学習を行いました。次にその結果を踏まえ自分で食物アレルギー対応のレシピを考え実際に作ってみました。今回は、小麦、卵、乳製品の使用を避けるために代わりにじゃがいもを使用した、たこ焼き風じゃがいもボールを作りました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

そうちゃん（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

弟が喜んで使えるマスク作り

活動の動機

4歳の弟はマスクがとても苦手です。幼稚園では他の友達もほとんどマスクをしていません。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、自らつけてもらえるマスクを作りたいと思ったからです。



取組・活動実施日

令和3年8月11日から令和3年8月14日

ゴール

3

解決したい地域の課題

幼児は成人に比べると新型コロナウイルスの感染者数は少ないですが、幼稚園や保育所でクラスターが発生したというニュースを聞いたので幼児もマスクをつけて感染をなくしたいです。

目指す将来の姿

幼児は成人に比べると新型コロナウイルスの感染者数は少ないですが、幼稚園や保育所でクラスターが発生したというニュースを聞いたので幼児もマスクをつけて感染をなくしたいです。ベルタ株では子供の感染者がさらに増えているのでより気をつけて欲しいです。

活動の内容

どの形が良いのかわからなかったので、この2つの形のマスクを作ってみました。2つの形のマスクを作ってみて思ったよりも上手に作ることができたので良かったです。本当は弟の好きなキャラクターで作ってみたかったけれど、家に余っていた布で作ったら弟がとても喜んでくれたのでわざわざ新しい布を買わなくてよかったと思いました。弟がマスクを気に入ってくれて嬉しかったし、作ってとても良かったなと感じました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

家で食品ロスを減らそう！！

活動の動機

世界では9人に1人が飢餓に苦しんでいるなかで日本の食べられるのに捨ててしまう食品ロスが年間約600万トンもあるのでまずは自分の家で食品ロスを減らす取り組みをしようと思いました。



取組・活動実施日

令和3年8月24日から令和3年8月26日

ゴール

2 1 3

解決したい地域の課題

小中学生の頃、給食で沢山の料理が余ってしまっているのを見かけました。だから食品の大切さをより理解するために身近な場所である家で食品ロスを減らしていく必要があると思います。

目指す将来の姿

すぐに食品ロスを減らすことや飢餓に苦しんでいる人をゼロにするのは難しいので家庭ごとに無駄になってしまう食品の量を減らしていけば少しずつ変化していくのではないかと思います。

活動の内容

家で食品ロスを減らすためにまず冷蔵庫の中にある賞味期限の近いものを探しました。今回はパイ生地があったのでこれを使いチョコパイを作りました。チョコパイを作る時に卵黄を使用するけど卵白が余ってしまいます。しかし卵白も食べられる食材なので他の卵と合わせて簡単に作れるだし巻き卵を作りました。少しでも食べられるのに捨ててしまう食品を減らす工夫をしました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

安全な水を世界中に！！

活動の動機

綺麗で安全な水を使えることが当たり前ではない人も世界中にいることを知ったことがきっかけで世界中で当たり前のように水やトイレを使えるようになって欲しいと思ったから



取組・活動 実施日

令和3年7月27日から令和3年8月15日

ゴール

6 3 11

解決したい地域の課題

インフラが整っていないで綺麗な水が使えなかったり、トイレが無かったりしている地域で綺麗な水を飲めないことで亡くなってしまう命や水を組みに行くために教育を受けられない子供が居るのが課題だと思いました

目指す将来の姿

節水や寄付をして水道設備を整えることで、水を汲みに行ったりする為に学校に通えない子供たちや、水の衛生状態が原因で病気になってしまう人や亡くなってしまう人を減らしたいです。

活動の内容

7月29日～8月7日まで家で出来る基本的な節水を実施してみました。10日間気をつけただけで前の2ヶ月の水道料金より294円安くなっていました。ほかにもろ過の仕組みを知るために簡易ろ過装置を作って実験したけれど、簡易的なものなので思っていたより綺麗にならなかったです。なのできちんとした設備を寄付金で整えることや、きれいな状態を維持する方法の指導をする人を派遣したりすることが必要だと思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

オクノ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 食品ロスを減らす

活動の動機 母が料理をしているとき、まだ食べられそうな食材を捨てているのを見て勿体無いと思ったこと。



取組・活動 実施日

令和3年7月23日から令和3年8月13日

ゴール

3 5 8

解決したい地域の課題

食品ロス

目指す将来の姿

食材の皮やすじなど様々な部分を美味しく生かして、食品ロスを減らす。

活動の内容

母に食材の普段捨てている部分をとっておいてもらう。
集まったら工夫してそれを調理し、家族分の夕食を作る。
家族に感想を聞く。

手軽に美味しくできたものは、これからも作ってみる。
捨てられる予定だった食材を使ってハンバーグ、お好み焼き、にんじんしりしり、トマトスープ、卵とじを作った。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

庭のクリーン大作戦

活動の動機

今年は、コロナの関係や母の家事の忙しさ、父の仕事の多さなどによって毎年やっている庭の草取りができていませんでした。夏休みの後半家の庭を見てみると、今までに見たことのない草の量に驚いたからです。



取組・活動実施日

令和3年8月21日から令和3年8月22日

ゴール

11 3 7

解決したい地域の課題

自分の家では草がすぐに生えてくることや、害虫が多いことが以前から課題で親がマシなことで困っているため解決したいと思います。

目指す将来の姿

僕は、庭のクリーン活動を実践することで11番の住み続けられるまちづくりを達成することができると思います。庭の草や虫の量を少しでも減らせるように対策などを調べて継続的な方法でやれるように考えて計画しました。

活動の内容

庭に種をまいていないのに雑草が生えてくる原因は、種が風に飛ばされたり、鳥やアリによって運ばれたなどの多く原因がありました。また虫にとって草や花がある場所は住みやすいため、草などを減らせば自然と虫も減ると思いました。その対策として防草シートや砂利を敷くなどがありました。実際に草を取り防草シートと砂利を敷き、植物も虫も住みにくい環境を作ることができました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

いちごん（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

障害の壁を超えて偏見をなくす社会作り

活動の動機

今までの福祉に関する経験をきっかけに、もっと一般の人と障害を持つ人が接する機会を増やして偏見を無くしたいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月2日から令和3年8月13日

ゴール

3 16

解決したい地域の課題

障害者の方と一般の方の距離が遠いことによって自然と差別意識がついてしまう。

目指す将来の姿

バリアフリーやユニバーサルデザインの広がりとともに障害者の方が安心して生活できる社会の設立。一般の人の障害者の方への理解を深めるとともに互いの距離を縮める。

活動の内容

福祉体験講座に参加し、スタッフの手伝いや障害者の方と接する。手話を曲でできるようにする。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

りよーまぁ （ 1 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 捨てちゃうところまで食べちゃおう！**活動の動機**

家族と一緒に料理をしていて、結構野菜って捨ててしまう部分がいっぱいあるんだなぁと思って調べてみると、色々な問題があることがわかったため、それを1つでも無くせると思ったから。

**取組・活動 実施日**

令和3年8月3日から令和3年8月20日

ゴール

2 3 15

解決したい地域の課題

日本の家庭では日々家庭ゴミが排出され、そのうち「食品ロス」と呼ばれるようなゴミは年間約600万tにもなる。これは2019年の飢餓で苦しむ人々への食料援助量の1.4倍にもなる。

目指す将来の姿

地域の人々がみんな無駄のないように気をつけ、まず自分たちにできることは何かかんがえ、行動するような社会。自分たちが生きていくためだけに資源を使うのではなく、未来の世代たちも豊かに生活していけるように資源を使うような社会。

活動の内容

世界の飢餓の現状、日本の食品ロスの現状などを調べた。その、食品ロスの原因の一つとなる生ゴミを減らすにはどうしたら良いか考えた。そこで、いつもなら捨ててしまうような野菜の部分を使って料理をした。今回はごぼうを皮ごと使ってごぼうの唐揚げを作った。調味料なども、捨ててしまう量を最小限にすることを第一に考えながらレシピを考えた。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 夏休みで健康に！

活動の動機

私は毎年、夏休みが終わって学校生活が始まると筋肉痛になります。周りの子達でも筋肉痛になる子はあるけど、ならない方が健康的なのでこの活動をしようと思いました。



取組・活動 実施日

令和3年7月21日

ゴール

3

解決したい地域の課題

私が解決したいのは、ポイ捨てです。いつも豊橋駅に行くと「豊橋市は530運動の発祥の地です。」と言っています。ですが、私の家の近くの公園などではよく缶やペットボトルなどが落ちているからです。

目指す将来の姿

私が目指すのは、学校が始まった次の日や夏休み明け最初の体育の次の日に、筋肉痛にならない姿です。自転車での行き帰りだけで膝が痛くなるのは、少し悲しくなります。あと痛いのも嫌です。それに、体育の次の日に筋肉痛になるのは少し格好悪いので、嫌です。なので、筋肉痛にならない姿を目指します。

活動の内容

私は最初に、ラジオ体操の第一と第二を毎日やろうと計画を立てました。ラジオ体操は結構いい運動になると聞いた事があったからです。ですが、3日ほどで終わりました。理由は、部活が午前であり、帰って来てからは疲れてやる気が出ないからです。なので、部活の行き帰りを歩いて行ったり、姉を誘って犬の散歩に行くなど、生活の中に少しの運動を取り入れました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

とぎ汁を活用してみた

活動の動機

親がとぎ汁を植物にあげているのを見て、他にも活用できるのではないかと思いこの活動をした



取組・活動実施日

令和3年8月26日から8月28日

ゴール

3 4

解決したい地域の課題

いろいろな栄養を含んだとぎ汁をそのまま捨ててしまうこと
また、水の使いすぎ、洗剤の使いすぎ

目指す将来の姿

とぎ汁をそのまま捨ててしまうのではなく、活用することで、水を無駄に使うこと、洗剤の使いすぎを防ぐ

活動の内容

・とぎ汁で皿の油の汚れをおとす
焼き魚を食べたあとの皿にとぎ汁を入れ、放置する。すると油が浮くため、洗いやすくなり、洗剤の使いすぎを防げる

・とぎ汁でパックを作る
とぎ汁を冷やし、出来た沈殿物にティッシュを浸す。それを顔に付けると肌がツルツルに

・台所の水道の水垢をとる
とぎ汁を染み込ませたティッシュで水垢になっているところを擦ると、簡単に水垢がとれる

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

着なくなった服に次の活躍を！

活動の動機

私はユニクロで服を回収するボックスを目にしました。なかなか利用する機会はありませんでしたがこれを機会にこのような取り組みをする企業や団体について調べ、実際に利用してみようと思ったのがきっかけです。



取組・活動 実施日

令和3年8月23日から令和3年8月27日

ゴール

3 12 13

解決したい地域の課題

規模がすごく大きくなってしまおうのですが、大量の衣服の処分や制作によるさまざまな環境問題、途上国での衣料不足の解決です。

目指す将来の姿

誰かが気なくなった服を譲ることで全ての人が服を着て健康に過ごすことと、服を処分する量を減らし、リユース、リサイクルをすることで、環境汚染の対策や新しく消費する資源を減らすことのできる姿だと思います。

活動の内容

取り組みを調べました。団体はNPO法人ワールドギフトなど。貧しい人や難民などに届けているようですが、お金が発生します。企業ではユニクロやH&Mなど。両者も近くの店舗へ渡しに行くだけなので、手軽にできます。私はユニクロに寄付をしました。本来禁止の写真も撮らせていただき、話によると、その後難民へ送るものとリサイクルするものに分けそれぞれ役立つみたいです。こういったものは積極的に参加していきたいです

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ハツラツboys （ 3 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

外国人児童サマースクールボランティア

活動の動機

困っている外国人生徒が学校に少しでも通いやすくなる手助けをしたいと思ったため。



取組・活動 実施日

令和3年7月26日から令和3年7月28日

ゴール

3 4

解決したい地域の課題

日本語の読み書きが上手にできない外国人小学生が多く、夏休みの宿題を終わらせることが難しい。

目指す将来の姿

日本語で困っている外国人の子供達を減らし、学生生活を楽しく過ごしてほしい。

活動の内容

豊橋市立岩田小学校で外国人生徒の夏休みの宿題を、先生方やボランティアに頻繁に参加する方に助けをいただきながら教えました。日本語の習熟度にばらつきがあったので、比較的日本語が話せる子どもを中心に教えました。私達が担当した学年は生徒に対し、ボランティアの人数が少なく、生徒全員にしっかり教えることが難しかったので、今後はボランティアに参加する人が増えれば良いと感じました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

高齢化の進む日本といずれ年を取る自分

活動の動機

高齢化の進んでいく現代社会。自分もいつかは高齢者になる時は来る。その時に自分はほったらかしにされてしまうのは嫌だと思いつく自分やってほしいと思うことを他の人にもやってあげたい。



取組・活動実施日

令和3年8月30日

ゴール

3

解決したい地域の課題

介護するのに人の助けが必要だからすぐに連携できるようにした街にできたらいいとおもう。

目指す将来の姿

介護をするというのは体力があるだけではなく知識も必要だというだからどういうものがあるといいかどうするといいかそういうことが知識としてえて活用出来るまでにする。

活動の内容

年を取ると難しくなることで掃除が大変と感ずることが分かった。夏休みの間家にいるとそこに何度か掃除を頼まれたり祖母の展示会などを通して改めて大変だということ再認識できた。事故は主に転倒転落が多く段差につまずくことが多いということがわかった。そのための対策として段差があるときは男性のすぐ前でなく少し離れたところで教えてあげるそうすることによって理解が遅れてしまった時にも安全だと考えたからだ。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ユネスコ委員会（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル “届けよう、服のチカラ” プロジェクト

活動の動機

私たちが着ることができなくなった子ども服を難民の子供に贈ることで健康や命を守ったり、人としての尊厳を守ったりできるという(株)ファーストリテイリングの考えに共感してこの活動は始まりました。



取組・活動 実施日

一年間を通して

ゴール

3 10 12

解決したい地域の課題

世界情勢の変化による紛争や内戦で難民の人数も年々増加傾向にあります。豊橋市はほか市区町村と比べ外国籍の割合が高く多様性に富んだ都市です。少しでも多くの方が難民問題に目を向けてほしいと考えています。

目指す将来の姿

「“届けよう、服のチカラ” プロジェクト」を通じて、世界的な難民問題や貧困問題をもっと多くの人に知ってほしい。参加者の増加による啓発的な効果も高めたい。私たちの身近に存在している着ることができなくなった子ども服を活用してこの活動の参加者を増やし難民の子どもたちにより多くの服のチカラを届けていきたい。

活動の内容

この活動は豊橋市内の幼稚園、こども園にご協力いただき、毎年沢山の子ども服を回収しています。幼稚園、こども園のみなさんに協力をお願いするにあたって園児に合わせて、チラシや回収箱作るなどの工夫をしています。昨年からコロナウィルスの影響で短い期間での実施でした。量より一枚一枚の思いを大切に難民の方が喜んでもらうために気持ちよく快適に着られる服を贈っています。その結果毎年約一万着集めることができます。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

よこた（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル つくる責任使う責任**活動の動機** 小さくて使えない服をリサイクルしようと思ったから**取組・活動 実施日**

令和3年8月28日

ゴール

1 3 12

解決したい地域の課題

使えない物を捨てるんじゃなくてつかおうとしているひとにゆする

目指す将来の姿

使えなくなったり使わなくなったりしたものを捨てるのではなくリサイクルできるようにする

活動の内容

使わなくなった服をいとこたちにゆする

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ウォーキング娘。（ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

「健康の道」で「健康のまち」へ！

活動の動機

豊橋市に住む全ての世代の人が気軽に運動できないか、と考えていた時に、市内に10コースある「健康の道」を見つけました。楽しく歩くことで健康、さらには市の活性化に繋がりたいと思い、活動することになりました。



取組・活動 実施日

令和3年8月27日から令和3年9月12日

ゴール

3 11 7

解決したい地域の課題

現在、豊橋では運動する人としない人の二極化が問題です。「運動が健康を維持するのに効果がある」と考えている人が9割以上いる一方で、普段運動することを意識して生活している人は、6割にとどまっています。

目指す将来の姿

一人ひとりの身体活動、運動に対する意識や意欲の向上を図るとともに、年齢、性別、身体状況などに応じた運動習慣の定着や身体活動量の増加を目指します。そして、それらにより市民の健康水準を高めて生涯にわたり、全員が心身ともに健康で生きがいを持って安心して生活することの出来るまちを目指します。

活動の内容

高校生の「健康の道」への認知度と、部活を除く運動量の現状を知るためにアンケートをとりました。その中で、33%のひとが「健康の道」を知っていて、その中の半数が歩いたことがあると答えました。また、47%のひとは、一日の運動量30分未満で、2時間以上運動する人は9%でした。「健康の道」は10コースあるので気軽に歩きに行くことができます。私達も実際に歩いてみました。運動に適したコースをもっと広めたいです。